

いっしょに読もう！新聞コンクール

日本新聞協会は9日、家族や友達と一緒に新聞を読み、感想や意見などを書いて応募する第15回「いっしょに読もう！新聞コンクール」の入選作を発表した。本県からは奨励賞に八戸市の八戸学院光星高校3年・大坂日和さんが選ばれた。

大坂さんは、9月3日付東奥日報の「認知症 自分らしく暮らす」を選び、政府がまとめた認知症施策の基本計画案の「新しい認知症観」について考えた。介護士をしている母親から意見を聞き、認知症の人は支える対象ではな

大坂さん(光星)奨励賞

く、支え合って生きることが重要という言葉に共感。「(自身も)共に支えていけるパートナーみたいなものになりた」とまとめた。

最優秀賞には、広島県安田学園安田小学校5年の村上正真さん、広島大学付属中学校2年の富田花音さん、福岡県立東筑高校3年の柴田深冬さんが選ばれた。コンクールには小学生から高専生まで6万1576編の応募があり、優秀賞30人、奨励賞120人、優秀学校賞15校、学校奨励賞190校を選定した。

(小泉結香)